

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【公開番号】特開2016-78796(P2016-78796A)

【公開日】平成28年5月16日 (2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2014-215340(P2014-215340)

【国際特許分類】

B 6 0 K 35/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

B 6 0 L 3/00 (2006.01)

G 0 1 C 21/36 (2006.01)

B 6 0 K 6/22 (2007.10)

【 F I 】

B 6 0 K 35/00 Z

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A

B 6 0 L 3/00 N

G 0 1 C 21/36

B 6 0 K 6/22

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月7日 (2016.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車室内に設けられた表示装置 ( 2 ) と、前記表示装置 ( 2 ) の表示を制御する表示制御手段 ( 3 ) とを備え、車両に関する特定情報を、図形を含んだ形態で前記表示装置 ( 2 ) の画面に表示するようにした車両用情報表示装置 ( 1 ) であって、

前記特定情報を、前記表示装置 ( 2 ) の画面中の比較的大きな表示領域 ( T ) で表示する第 1 の表示モードと、該特定情報を、前記表示装置 ( 2 ) の画面中の前記第 1 の表示モードよりも小さい表示領域 ( T 2 ) に表示する第 2 のモードとの間で切替える表示モード切替手段 ( 3 ) を備え、

前記表示制御手段 ( 3 ) は、前記表示モード切替手段 ( 3 ) により表示領域が切替えられたときに、前記特定情報の図形の向き又は形状を変更して表示させると共に、

前記特定情報の図形が長軸短軸を有するものである場合には、前記表示領域 ( T , T 2 ) の長手方向と、前記図形の長軸とを合わせるように、前記特定情報の図形の向きを変更させることを特徴とする車両用情報表示装置。

【請求項 2】

車室内に設けられた表示装置 ( 2 ) と、前記表示装置 ( 2 ) の表示を制御する表示制御手段 ( 3 ) とを備え、車両に関する特定情報を、図形を含んだ形態で前記表示装置 ( 2 ) の画面に表示するようにした車両用情報表示装置 ( 1 ) であって、

前記特定情報を、前記表示装置 ( 2 ) の画面中の比較的大きな表示領域 ( T ) で表示する第 1 の表示モードと、該特定情報を、前記表示装置 ( 2 ) の画面中の前記第 1 の表示モードよりも小さい表示領域 ( T 2 ) に表示する第 2 のモードとの間で切替える表示モード切替手段 ( 3 ) を備え、

前記表示制御手段(3)は、前記表示モード切替手段(3)により表示領域が切替えられたときに、前記特定情報の図形の向き又は形状を変更して表示させると共に、

前記特定情報の図形が立体を表す図形であった場合には、前記表示領域(T, T2)の形状に応じて、作図視点を変更させることを特徴とする車両用情報表示装置。

【請求項3】

前記表示モード切替手段(3)は、前記第1の表示モードにおいて、前記表示装置(2)のほぼ全画面を用いて前記特定情報の表示を行い、前記第2の表示モードにおいて、前記表示装置(2)の画面の一部を用いて該特定情報の表示を行うことを特徴とする請求項1又は2記載の車両用情報表示装置。

【請求項4】

前記表示制御手段(3)は、前記第1の表示モードから第2の表示モードに切替えられた際に、表示領域(T, T2)の大きさの縮小の比率に対して、図形の縮小の比率が大きくなるように、図形の表示を変更することを特徴とする請求項1から3のいずれか一項に記載の車両用情報表示装置。

【請求項5】

前記表示制御手段(3)は、表示モードが切替えられる際に、前記表示装置(2)の画面中の表示領域(T, T2)の拡大縮小動作に合わせて、前記特定情報の図形が徐々に変化していくようなアニメーション表示を行うことを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載の車両用情報表示装置。

【請求項6】

車室内に設けられた表示装置(2)と、前記表示装置(2)の表示を制御する表示制御手段(3)とを備え、車両に関する特定情報を、図形を含んだ形態で前記表示装置(2)の画面に表示するようにした車両用情報表示装置(1)であって、

前記車両に関する特定情報は、該車両のボディの外形(C)を立体的に表す図形を含んでいると共に、

前記特定情報を、前記表示装置(2)の画面中の比較的大きな表示領域(T)で表示する第1の表示モードと、該特定情報を、前記表示装置(2)の画面中の前記第1の表示モードよりも小さい表示領域(T2)に表示する第2のモードとの間で切替える表示モード切替手段(3)を備え、

前記表示制御手段(3)は、前記表示モード切替手段(3)により表示領域が切替えられたときに、前記特定情報の図形の向き又は形状を変更して表示させることを特徴とする車両用情報表示装置。

【請求項7】

前記表示モード切替手段(3)は、前記第1の表示モードにおいて、前記表示装置(2)のほぼ全画面を用いて前記特定情報の表示を行い、前記第2の表示モードにおいて、前記表示装置(2)の画面の一部を用いて該特定情報の表示を行うことを特徴とする請求項6記載の車両用情報表示装置。

【請求項8】

前記表示制御手段(3)は、前記第1の表示モードから第2の表示モードに切替えられた際に、表示領域(T, T2)の大きさの縮小の比率に対して、図形の縮小の比率が大きくなるように、図形の表示を変更することを特徴とする請求項6又は7記載の車両用情報表示装置。

【請求項9】

前記表示制御手段(3)は、前記特定情報の図形が長軸短軸を有するものである場合には、前記表示領域(T, T2)の長手方向と、前記図形の長軸とを合わせるように、前記特定情報の図形の向きを変更させることを特徴とする請求項6から8のいずれか一項に記載の車両用情報表示装置。

【請求項10】

前記表示制御手段(3)は、前記車両のボディの外形(C)を立体的に表す図形に関して、前記表示領域(T, T2)の形状に応じて、作図視点を変更させることを特徴とする

請求項 6 から 9 のいずれか一項に記載の車両用情報表示装置。

【請求項 1 1】

前記表示制御手段（3）は、表示モードが切替えられる際に、前記表示装置（2）の画面中の表示領域（T，T2）の拡大縮小動作に合わせて、前記特定情報の図形が徐々に変化していくようなアニメーション表示を行うことを特徴とする請求項 6 から 10 のいずれか一項に記載の車両用情報表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の第 1 の車両用情報表示装置（1）は、車室内に設けられた表示装置（2）と、前記表示装置（2）の表示を制御する表示制御手段（3）とを備え、車両に関する特定情報を、図形を含んだ形態で前記表示装置（2）の画面に表示するようにしたものであって、前記特定情報を、前記表示装置（2）の画面中の比較的大きな表示領域（T）で表示する第 1 の表示モードと、該特定情報を、前記表示装置（2）の画面中の前記第 1 の表示モードよりも小さい表示領域（T2）に表示する第 2 のモードとの間で切替える表示モード切替手段（3）を備え、前記表示制御手段（3）は、前記表示モード切替手段（3）により表示領域が切替えられたときに、前記特定情報の図形の向き又は形状を変更して表示させると共に、前記特定情報の図形が長軸短軸を有するものである場合には、前記表示領域（T，T2）の長手方向と、前記図形の長軸とを合わせるように、前記特定情報の図形の向きを変更させるところに特徴を有する。